

# 事務事業評価シート

事務事業コード	024400	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	市庁舎整備事業		所属名	総務部 総務部庁舎整備局	

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成28年度 ~ 平成31年度
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市役所の位置を定める条例
施策	4101	地域防災力の向上				
目標の 実施の 目標	目標の種類		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	市庁舎整備事業費			予算事業コード	01-02-01-06-13-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	本庁舎、第二庁舎は耐震基準を下回っており、老朽化が進んでいる。また本庁機能が6カ所に分散していることから、市民サービスの上で問題を抱えている状態であるとともに、バリアフリー化が十分ではない、環境配慮に対応できていない、時代が変わっても長期間使い続けることができる空間構成になっていないなど問題を多く抱えている。
意図 (どのような状態にするために)	災害に強く市民の安全安心を守る拠点として機能する新本庁舎を建設する。
手段 (どうするのか)	市民への情報提供に努めながら、「みんなでつくとっとり市庁舎の考え方」を基に基本設計・実施設計に着手し、新本庁舎の建設を進める。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度別計画	①工事発注方法検討 ②地質調査等 ③オフィス環境整備	①工事発注 ②地質調査等 ③実施設計完成 ④オフィス環境整備 ⑤工事監理	①工事発注 ②地質調査等 ③オフィス環境整備 ④工事監理	①工事監理 ②地質調査等 ③オフィス環境整備	
	年度別実績	①委員会を設置し、提言を受けた ②地質調査や観測井設置の実施 ③事務環境や引越作業に関する諸課題の整理の実施				
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	103,581	0	0	0	0
	直接経費 A	103,581	0	0	0	0
	直接経費の財源内訳					
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	20,500	0	0	0	0
その他	83,081	0	0	0	0	
一般財源	0	0	0	0	0	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	市庁舎整備の進捗率	%	目標	0	0	0	100	0
				実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明) 平成31年度の市庁舎整備完了に向け、実施設計、建設工事を実施する。								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】庁舎整備局 0857-20-3012</p> <p>【10次総の施策体系】4101</p> <p>【予算計上の経過】          予算事業別概要目次：当初予算・P10(庁001)          6月補正予算・P1(庁001)          12月補正予算・P3(庁001)</p> <p>【事業の概要】          新庁舎建設委員会の専門的意見、市民ワークショップや市民政策コメントを経て、平成28年8月に新本庁舎建設の基本設計を作成した。          また、市民サービスと事務効率の向上のためのオフィス環境整備業務を進めるとともに、建設予定地の地下水の水質モニタリング調査の着手や地質の調査を実施した。</p> <p>【事業の成果】          ≪平成28年度実績≫          オフィス環境整備業務 5,285千円(契約期間H27~H31)          基本設計・実施設計業務 65,688千円(契約期間H27~H29)          地質調査業務 24,013千円(契約期間H27~H28)          観測井設置業務 8,595千円</p> <p>【今後の課題・方向性】          平成31年の開庁を目指して、市民の安全、安心な暮らしを支える拠点となるよう、新本庁舎の建設を着実に進めていく。 *その他財源の繰入金は、公共施設等整備基金繰入金</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	市庁舎整備の進捗率					
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	地質調査の発注のずれから、基本設計の完成を1月延期したものの、予定していた事業を完了することができた。
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	新本庁舎建設の基本設計を完成させ、ホームページに掲載するなど広く周知を行った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>新本庁舎建設に向け、実施設計の完成や建設工事への準備、オフィス環境の整備など、着実に事業を推進していく。</small>				

# 事務事業評価シート

事務事業コード	024500	重点施策	まちづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	自主防災会関係事業		所属名	総務部防災調整監 危機管理課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成8年度～全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	災害対策基本法
施策	4101	地域防災力の向上				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	自主防災会関係費			予算事業コード	01-02-01-11-07-12

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内自主防災会（KPI設定により消防団も含める）
意図 (どのような状態 にするために)	災害時の被害軽減に必要な「自助」「共助」「公助」のうちの、「共助」の中心となる自主防災会や消防団の機能を強化することにより地域防災力の向上を図る。
手段 (どうするのか)	市が指定する研修の修了者等を防災リーダーに登録し、また防災リーダーのうち地区公民館単位に地区防災指導員を任命。自主防災活動の中心的役割を担う防災リーダー及び地区指導員を養成し、消防団員と共に住民自らによる地域防災力の向上を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		①防災指導員(防災リーダー)養成研修の実施 ②自主防災会訓練、研修への防災指導員(防災リーダー)の派遣 ③自主防災会と消防団との連携等による地域防災力の向上	①防災指導員(防災リーダー)養成研修の実施 ②自主防災会訓練、研修への防災指導員(防災リーダー)の派遣 ③自主防災会と消防団との連携等による地域防災力の向上	①防災指導員(防災リーダー)養成研修の実施 ②自主防災会訓練、研修への防災指導員(防災リーダー)の派遣 ③自主防災会と消防団との連携等による地域防災力の向上	①防災指導員(防災リーダー)養成研修の実施 ②自主防災会訓練、研修への防災指導員(防災リーダー)の派遣 ③自主防災会と消防団との連携等による地域防災力の向上	①防災指導員(防災リーダー)養成研修の実施 ②自主防災会訓練、研修への防災指導員(防災リーダー)の派遣 ③自主防災会と消防団との連携等による地域防災力の向上
事業費	年度別実績	①防災指導員・リーダー養成研修実施(防災リーダー431人登録、防災指導員50人委嘱) ②自主防災会研修等への防災指導員・リーダーの派遣延べ30回 ③各地域での防災訓練実施				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	1,029	0	0	0	0
	直接経費 A	1,029	0	0	0	0
	直接経費の財源内訳					
	国・県	331	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	698	0	0	0	0

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	[KPI]自主防災組織率	%	目標	97
			実績	96	0	0	0	0
	(指標の説明) 基準値は平成26年度実績。							
2	[KPI]消防団員数充足率	%	目標	97	98	99	100	0
			実績	96	0	0	0	0
	(指標の説明) 基準値は平成26年度実績。							
3	防災リーダー	人	目標	120	120	120	120	120
			実績	105	0	0	0	0
	(指標の説明) 地域の自主防災活動を行うため、所定の研修を修了した者を防災リーダーとして登録した人数							

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 危機対策係 (0857-20-3127)</p> <p>【10次総の施策体系】 4101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算 (事業別概要なし)</p> <p>【事業の概要】 地区公民館を単位として、地域の防災事情に詳しい者を防災指導員として養成・登録。危機管理課に配置している防災コーディネーターと連携して、自主防災会などによる地域の「自助」及び「共助」の取り組みを支援するなど、地域の実情に応じたきめ細やかな防災対策を推進することにより地域防災力の向上を図る。</p> <p>【事業の成果】 平成29年3月現在 防災指導員……50名 防災リーダー登録者………431名 (消防団員…1299名) 防災リーダー新規登録者…105名</p> <p>①防災リーダー養成研修の開催 (3部構成) 7月31日、8月28日、9月25日 ②防災指導員研修の開催 4月24日 ③自主防災会訓練・研修への防災指導員 (防災リーダー) の派遣 防災指導員 (防災リーダー) を危機管理課の防災コーディネーターの依頼により、自主防災会の訓練・研修会へ積極的に派遣した。</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き、各地区の自主防災会や消防団と連携を密にし、防災指導員・防災リーダー・消防団員の育成と後継者等も含めた人員確保に努める。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	【KPI】自主防災組織率	99%				
	2	【KPI】消防団員数充足率	99%	99%			
	3	防災リーダー	88%				

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	<p>自主防災会組織率や防災リーダー登録者数は、目標達成に向け順調に推移している。</p>
<p>事業の成果</p> <p><small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	<p>自主防災会連合会及び本市の働きかけ・育成活動等により、自主防災会組織率が向上するとともに体制もより強固なものとなりつつあり、「共助」の推進に寄与している。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p><small>引き続き、防災指導員・防災リーダーの育成に努め、あわせて防災指導員未配置地域への働きかけを行う。また、任命・登録した防災指導員・防災リーダーの活動を活性化させる取り組みを行うとともに、消防団との連携強化に努める。</small></p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	024600	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	総合防災対策事業		所属名	総務部防災調整監 危機管理課

## 1. 基本情報

位置づけの 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	災害対策基本法
施策	4101	地域防災力の向上				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	総合防災対策事業費			予算事業コード	01-02-01-11-07-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民の安全確保のための総合的な防災対策整備
意図 (どのような状態 にするために)	「自助」「共助」「公助」それぞれを有効かつ連携して機能させ、災害を未然に防ぎ、また発生時の被害を最小限とする。
手段 (どうするのか)	市民に配布する防災マップの作成やFM鳥取の緊急割込み放送等による防災情報提供の充実と、自主防災会自らが作成する防災マップの作成支援等「共助」の充実による地域防災力向上。また、BCP策定や事業所の協定による「公助」の体制整備。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①総合防災マップ・BCP作成及び地区防災マップ作成支援 ②FM鳥取緊急割込放送等による防災情報伝達、職員参集システム活用及び維持管理、他都市・事業所等との災害時応援協定	①地域防災計画改訂、BCP作成及び地区防災マップ作成支援 ②FM鳥取緊急割込放送等による防災情報伝達、職員参集システム活用及び維持管理、他都市・事業所等との災害時応援協定	①地域防災計画改訂、BCP作成及び地区防災マップ作成支援 ②FM鳥取緊急割込放送等による防災情報伝達、職員参集システム活用及び維持管理、他都市・事業所等との災害時応援協定	①総合防災マップ・BCP改訂及び地区防災マップ作成支援 ②FM鳥取緊急割込放送等による防災情報伝達、職員参集システム活用及び維持管理、他都市・事業所等との災害時応援協定	①地域防災計画・総合防災マップ・BCP作成及び地区防災マップ作成支援 ②FM鳥取緊急割込放送等による防災情報伝達、職員参集システム活用及び維持管理、他都市・事業所等との災害時応援協定	
	年度別実績	①総合防災マップを作成及び配布 ②職員参集システム及びとっとり地域防災メールの運用、新規災害応援協定等4件					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	16,365	0	0	0	0	
	直接経費 A	16,365	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	3,748	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	12,617	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	地区防災マップ作成	地区	目標	4	4	4	4	4
				実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明) 地区公民館単位で住民自らが作成する防災マップの作成地区数								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 危機対策係・消防防災係 (0857-20-3127、20-3118)</p> <p>【10次総の施策体系】 4101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P25 (防001)</p> <p>【事業の概要】 災害を未然に防ぎ、発生時の被害を最小限に食い止めるため、総合的に防災体制を整備する。また、住民に対する防災意識の啓発と防災情報の提供を強化していく。</p> <p>①鳥取市防災会議 鳥取市地域防災計画において、その実施事項を推進することや、市長の諮問に応じて市域に係る防災に関する重要事項を審議する。</p> <p>②住民への防災情報伝達 災害時における住民への情報伝達手段について、多種多様な方法により情報の発信を行い、住民への情報提供を行う必要がある(自主防災会等へのメール配信など)。</p> <p>③総合防災マップ等の活用 地域防災計画、総合防災マップ等を活用し、防災意識・防災体制の強化を図る。</p> <p>④災害時応援協定都市等との交流 相互応援協定締結都市等と情報の共有を行い、災害時の連携強化を図る。</p> <p>【事業の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合防災マップの刷新(市民配布)</li> <li>・職員参集システム、自主防災会メール配信システム、被災者支援システムの運用</li> <li>・災害時応援協定都市等との連携強化</li> </ul> <p>【今後の課題・方向性】 より効果的に災害対応が行えるように、随時手段等の更新・見直しを行う。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	地区防災マップ作成					
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	<p>総合防災マップの刷新・配布等によって多様な情報伝達手段によって、多くの住民に防災情報の伝達が行える環境の充実に図られた。</p>
<p>事業の成果</p> <p><small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	<p>地区防災マップの作成に関しては、年度期間中1地区の取り組み(未完成)にとどまり、自助・共助の推進の観点からもさらなる働きかけが必要である。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p><small>今後も効果的な防災情報伝達手段を用いて、より迅速に、より多くの住民に防災情報が伝達できるように努めていく。また、住民自らが作成する地区防災マップのような効果的な防災意識の啓発を継続して行っていく。</small></p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	024701	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	消防ポンプ車購入・格納庫建設事業(消防ポンプ車)		所属名	総務部防災調整監 危機管理課

## 1. 基本情報

位置づけの 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	4101	地域防災力の向上				
目標の 実施の 目標	目標の種類		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	消防ポンプ車購入費			予算事業コード	01-08-01-03-03-03

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市消防団に配備する消防ポンプ車
意図 (どのような状態 にするために)	老朽化した消防ポンプ車を更新し、火災をはじめとした消防団の災害対応に万全を期す
手段 (どうするのか)	消防ポンプ車を計画的に更新する

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①ポンプ車更新 2台	平成29年度 ①ポンプ車更新 2台	平成30年度 ①ポンプ車更新 2台	平成31年度 ①ポンプ車更新 2台	平成32年度 ①ポンプ車更新 2台	
	年度別実績	①ポンプ車更新 2台 (河原本部、鹿野第1)					
	事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
事業費	事業費(A+B)	40,203	46,008	46,008	46,008	46,008	
	直接経費 A	40,203	46,008	46,008	46,008	46,008	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	40,100	46,000	46,000	46,000	46,000
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	103	8	8	8	8		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	消防車更新台数	単位	台	区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		(指標の説明) 更新した消防車の台数	目標	2	2	2	2	2				
			実績	2	0	0	0	0				
	2	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0				
			実績	0	0	0	0	0				
		3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0			
	実績			0	0	0	0	0				
	(指標の説明)											

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】消防防災係 0857-20-3118</p> <p>【10次総の政策体系】4101</p> <p>【事業の経過及び背景】 消防団の消防ポンプの中には、配備から20年以上経過しているものがある。老朽化により、火災時に支障が出ることがないように、計画的に更新していくことが必要である。</p> <p>【事業の目的及び効果】 消防ポンプを更新することにより、作業効率が向上し、火災時等における被害の軽減を図ることができる。</p> <p>【事業の内容・実績】</p> <p>①消防ポンプ自動車更新(鹿野第1分団・河原本部分団)</p> <p>②小型動力ポンプ更新(福部本部分団)</p> <p>平成24年度 ポンプ車更新(大正)、小型ポンプ更新(吉岡)</p> <p>平成25年度 ポンプ車更新(神戸)、小型ポンプ更新(倉田)</p> <p>平成26年度 ポンプ車更新(福部本部、東郷)、小型ポンプ更新(津ノ井)</p> <p>平成27年度 ポンプ車更新(美保、国府第2)、小型ポンプ更新(米里)</p> <p>【今後の取り組み】 平成27年度末時点の消防ポンプ自動車及び可搬消防ポンプ積載車の総数は53台で、購入から20年以上経過したポンプ車は14台、積載車は5台ある。また、可搬消防ポンプの総数は38台で、購入から20年以上経過したポンプは18台ある。 購入年度や出動形態を勘案して、計画的に消防ポンプを更新するとともに、適切な管理運用を行う。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	消防車更新台数	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	購入年度や出動形態を勘案して、計画的に消防ポンプを更新した。
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	購入年度や出動形態を勘案して、計画的に消防ポンプを更新した。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>消防団の消防ポンプの中には、配備から20年以上経過しているものがある。老朽化により、火災時に支障が出ることがないように、計画的に更新していくことが必要である。購入年度や出動形態を勘案して、計画的に消防ポンプを更新するとともに、適切な管理運用を行う。</p>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	024702	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	消防ポンプ車格納庫建設事業費(格納庫建設)		所属名	総務部防災調整監 危機管理課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	4101	地域防災力の向上			
目標の種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	消防ポンプ車格納庫建設事業費			予算事業コード	01-08-01-03-02-05

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市消防団の消防ポンプ車格納庫
意図 (どのような状態 にするために)	老朽化し、また消防団員の待機室を備えていないなど設備が不十分な消防ポンプ車格納庫を防災拠点として必要十分な施設とするため
手段 (どうするのか)	消防ポンプ車格納庫を建設する

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①消防ポンプ車格納庫 建設 1棟	平成29年度 ①消防ポンプ車格納庫 建設 2棟	平成30年度 ①消防ポンプ車格納庫 建設 1棟	平成31年度 ①消防ポンプ車格納庫 建設 1棟	平成32年度 ①消防ポンプ車格納庫 建設 1棟	
	年度別実績	①消防ポンプ車格納庫 建設 1棟(用瀬社分 団)					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	26,545	57,867	26,580	26,580	26,580	
	直接経費 A	26,545	57,867	26,580	26,580	26,580	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	24,900	57,860	26,500	26,500	26,500
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,645	7	80	80	80		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	消防ポンプ車格納庫建設数	単位	棟	区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		実績	1	0	0	0	0					
		(指標の説明)	建替又は改築等により整備した消防ポンプ車格納庫の棟数									
	2	目標	0	0	0	0	0					
		実績	0	0	0	0	0					
		(指標の説明)										
	3	目標	0	0	0	0	0					
		実績	0	0	0	0	0					
		(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 消防防災係 0857-20-3118</p> <p>【10次総の政策体系】 4101</p> <p>【事業の経過及び背景】 消防格納庫の中には、建設から50年近く経過して老朽化しているとともに、格納庫が狭小であるため、新型の消防ポンプ車が格納できない格納庫がある。また、団員が迅速に活動するための待機場所の設置が必要となっている。</p> <p>【事業の目的及び効果】 老朽化している格納庫を新築することにより、今後の消防ポンプ車の配備に備えるとともに、消防ポンプ車格納庫に待機場所を整備することによる出動時間の短縮により、被害の軽減を図ることができる。</p> <p>【事業の内容・実績】 老朽化した格納庫を新たに建設して地域の消防力の向上を図る。 ①用瀬分団消防格納庫新築工事、旧格納庫解体工事 ②明治分団消防格納庫新築設計、用地購入、上下水道接続工事 平成24年度 用瀬分団格納庫改修(23年度の繰越)、松保分団格納庫設計・建築 平成25年度 青谷第3分団格納庫便所設置、東郷分団格納庫予定地建物解体 平成26年度 東郷分団格納庫設計・建築(25年度の繰越)、鹿野第2分団格納庫設計 簡水・下水接続工事 平成27年度 鹿野第2分団格納庫建築(26年度の繰越)、用瀬分団格納庫設計</p> <p>【今後の取り組み】 建設年次等を勘案し、計画的に建替えを行う。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	消防ポンプ車格納庫建設数	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でのどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	建設年次等を勘案し、計画的に建替えを行った。
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	建設年次等を勘案し、計画的に建替えを行った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p><small>消防格納庫の中には、建設から50年近く経過して老朽化しているとともに、格納庫が狭小であるため、新型の消防ポンプ車が格納できない格納庫がある。また、団員が迅速に活動するための待機場所の設置が必要となっている。建設年次等を勘案し、計画的に建替えを行う。</small></p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	024800	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	防災行政無線整備事業		所属名	総務部防災調整監 危機管理課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成22年度 ~ 全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	4101	地域防災力の向上				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	防災行政無線整備事業費			予算事業コード	01-02-01-11-07-15

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市防災行政無線（地上系無線）
意図 (どのような状態にするために)	防災行政無線により、全市域へ災害時の緊急情報を伝達可能とするため
手段 (どうするのか)	防災行政無線の難聴地域での無線設備整備及び既設のアナログ防災行政無線設備のデジタル化による整備更新

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①防災行政無線のデジタル化整備(青谷地域)	①防災行政無線のデジタル化整備(気高・鹿野地域)	①防災行政無線のデジタル化整備(気高・鹿野地域)	①防災行政無線のデジタル化整備(河原地域)	①防災行政無線のデジタル化整備(福部・用瀬地域)	
	年度別実績	①防災行政無線のデジタル化整備を完了(青谷地域)					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	157,685	0	0	0	0	
	直接経費 A	157,685	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	149,100	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	8,585	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	防災行政無線デジタル化	カ所	目標	1	0	2	1	2	
				実績	1	0	0	0	0	
	(指標の説明) 防災行政無線をアナログ方式からデジタル化するもの(国府を除く新市域)									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 危機対策係 (0857-20-3127)</p> <p>【10次総の施策体系】 4101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P26 (防003)</p> <p>【事業の概要】 鳥取市の防災行政無線(同報系)は、現在、平成22年にデジタル化方式で整備した鳥取・国府地域と、合併前にアナログ方式で整備されていたその他新市域の8つのシステムで運用しているが、総務省のデジタル化の方針により、平成34年11月までにアナログ方式からデジタル方式へ切り替えるとともに、鳥取市として1つのシステムに統合する必要があるため、年次的にデジタル化整備・統合を行う。</p> <p>【事業の成果】 ・青谷地域において、防災行政無線のデジタル化整備を実施した。 ・旧国府支所の解体に伴い、屋外拡声子局の新設を行った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 防災行政無線は、緊急時の情報伝達の重要な手段の1つであるが、老朽化しているアナログ同報系無線部品の生産停止など維持修繕が困難な状況でもあることから、デジタル化は急務であり、計画的に整備を進めていくものとする。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	防災行政無線デジタル化	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	行程変更なく、順調に進捗している。
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	青谷地域において防災行政無線デジタル化の整備を行い、その運用を開始した。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

防災行政無線は、防災情報を瞬時かつ広範囲に発信する有効な情報伝達手段であり、デジタル化の移行期限もあることから、計画どおりの進捗が図られるよう努める。

# 事務事業評価シート

事務事業コード	024900	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	避難行動要支援者支援制度普及促進事業		所属名	福祉部 障がい福祉課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成18年度 ~ 全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市避難行動要支援者支援 制度実施要項
施策	4101	地域防災力の向上				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	内部管理
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区		
			0	0		
実施の 手段			0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	避難行動要支援者支援制度普及促進事業費			予算事業コード	01-03-01-01-43-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	災害時に支援の必要な障がい者やひとり暮らしの高齢者などの要援護者
意図 (どのような状態 にするために)	災害時要援護者登録台帳を整備し、地震や洪水などの災害時において地域の「共助」により支援を受けられる体制を整備する。
手段 (どうするか)	市内の自治会単位で災害時要援護者登録台帳を整備する。特に支援が必要な障がい者やひとり暮らしの高齢者などについては、対象者リストを地域の支援組織に提供し、要援護者の存在について認識してもらうとともに対象者に対し、制度への登録について勧奨を行ってもらう。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		①市内全61地区での避難行動要支援者支援制度の実施 ②避難行動要支援者登録台帳への対象者登録 ※登録者数6,021人 (H28.3.31現在)	①市内全61地区での避難行動要支援者支援制度の実施 ②避難行動要支援者登録台帳への対象者登録 ※登録者数6,021人 (H28.3.31現在)	①市内全61地区での避難行動要支援者支援制度の実施 ②避難行動要支援者登録台帳への対象者登録 ※登録者数6,021人 (H28.3.31現在)	①市内全61地区での避難行動要支援者支援制度の実施 ②避難行動要支援者登録台帳への対象者登録 ※登録者数6,021人 (H28.3.31現在)	①市内全61地区での避難行動要支援者支援制度の実施 ②避難行動要支援者登録台帳への対象者登録 ※登録者数6,021人 (H28.3.31現在)
年度別実績	①市内全61地区での避難行動要支援者支援制度の実施 ②避難行動要支援者登録台帳への対象者登録 ※登録者数6,340人					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	350	0	0	0	0
	直接経費 A	350	0	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
直接経費の財源内訳	一般財源	350	0	0	0	0

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	避難行動要支援者登録台帳登録者数	人	目標	6021
			実績	6340	0	0	0	0
	(指標の説明) 平成28年3月31日現在登録者数を基準とする。							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 障がい者福祉係 0857-20-3474</p> <p>【9次総の施策体系】 4101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P66（福018）</p> <p>【事業の概要】 地震や洪水などの災害時において、障がいのある方、ひとり暮らしの高齢者などの要支援者が、地域の「共助」により支援を受けられる体制づくりの推進を図る。 要支援対象者の範囲を絞り込んだ「要支援対象者リスト」を作成する。このリストを地域の支援組織（自治会、自主防災組織、民生児童委員、地区社会福祉協議会等により構成された組織）に提供し、要支援者の存在を認識していただくとともに、対象者に対して制度への登録勧奨を行っていただく。</p> <p>【事業の成果】 平成26年度：新規3地区（年度末現在取組地区61地区中59地区、登録者数5,330人） ※2地区を1地区に統合した地区あり。 平成27年度：新規2地区（年度末現在取組地区61地区中61地区、登録者数6,021人） 平成28年度：取組地区61地区中61地区、登録者数6,340人）</p> <p>【今後の課題・方向性】 27年度において全地区（61地区）で取り組みを実施することとなった。今後は、この制度を踏まえた情報伝達、避難訓練等の実施を促進し、災害に強い地域コミュニティづくりを進める。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	避難行動要支援者登録台帳登録者数	105%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	全61地区で避難行動要支援者支援制度の取組が実施されている。
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	全61地区で避難行動要支援者支援制度の取組が実施されている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>災害時に避難の支援を必要とする避難行動要支援者の安全を確保するためには、避難行動要支援者支援制度の普及・促進が必要である。今後は、この制度を踏まえた情報伝達、避難訓練等の実施を促進し、災害に強い地域コミュニティづくりを進める。</p>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	025000	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	わが町支え愛活動支援事業		所属名	福祉部 障がい福祉課

## 1. 基本情報

位置づけの 総合計画の 実施の 目標の 予算	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成24年度 ~ 全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	わが町支え愛マップ推進事業補助金交付要綱
施策	4101	地域防災力の向上				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区	運営方法	補助金交付
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	わが町支え愛活動支援事業補助金			予算事業コード	01-03-01-01-56-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	障がい者や独居の高齢者の方々等 (要支援者)
意図 (どのような状態にするために)	要支援者が身近な地域で安全安心に暮らすための地域住民が主体となった支え愛体制の充実を図る。
手段 (どうするのか)	要支援者に対する災害時の避難支援等の仕組みづくりや平常時の見守り体制づくり等の住民組織等による取組を支援する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①要援護者支援の取り組み助成 ・支援事業:20団体 ・ステップアップ事業:5団体	平成29年度 ①要援護者支援の取り組み助成 ・支援事業:15団体 ・ステップアップ事業:5団体	平成30年度 ①要援護者支援の取り組み助成 ・支援事業:15団体 ・ステップアップ事業:5団体	平成31年度 ①要援護者支援の取り組み助成 ・支援事業:15団体 ・ステップアップ事業:5団体	平成32年度 ①要援護者支援の取り組み助成 ・支援事業:15団体 ・ステップアップ事業:5団体	
	年度別実績	①要援護者支援の取り組み助成 ・支援事業:5団体 ・ステップアップ事業:4団体					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	600	0	0	0	0	
	直接経費 A	600	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	600	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	実施住民組織	団体	目標	25	20	20	20	20	
				実績	9	0	0	0	0	
		(指標の説明)								
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)								
	3				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)								

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 障がい者福祉係 0857-20-3474</p> <p>【10次総の施策体系】 4101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P67（福019）</p> <p>【事業の概要】 災害が発生した際、要援護者（障がい者、要介護者、独居高齢者など）は、最も被害にあう確率が高く、安否確認や避難誘導などの支援体制を整備することは喫緊の課題であり、これらの課題を地域住民が自らの課題として捉え、地域ぐるみで互いに支え合える体制づくりを進めていく必要がある。町内会、集落単位で取り込まれる災害時の要援護者避難体制及び平常時の見守り体制の構築を支援することにより、身近な地域で安全安心な生活基盤の整備を行う。</p> <p>【事業の成果】 平成26年度：30団体 平成27年度：支援事業13団体 平成28年度：支援事業5団体、ステップアップ事業4団体</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き、地域において、災害時における要支援者を支援する体制づくりを進めていく必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	実施住民組織	36%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	予算において想定していた団体数を下回った。
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	取組団体は着実に増加している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加	<input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>わが町支え愛活動支援事業は平成28年度をもって県の補助が一旦終了したが、平成29年度より、新たな支援制度を県で創設したため、本市としても県の制度を活用しながら、引き続き支え愛活動を支援をしていく。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	025100	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	普通河川改良事業		所属名	都市整備部	都市環境課

## 1. 基本情報

位置づけの 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	4101	地域防災力の向上				
目標の 実施の 目標	目標の種類		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	普通河川改良事業費			予算事業コード	01-07-03-01-07-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	準用河川及び治水・環境衛生上重要な法定外水路
意図 (どのような状態 にするために)	流域の浸水被害の軽減、環境改善を図る
手段 (どうするのか)	河川改良整備を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①内海川改良工事 ②坂根川改良工事 ③青谷町福井田川改良工事 ④鮫後川改良工事 ⑤北田川改良工事 ⑥笹谷川改良工事	①内海川改良工事 ②坂根川改良工事 ③茶屋川改良工事 ④吉野川改良工事 ⑤旧畑山川改良工事 ⑥佐治町河合谷川改良工事測量設計業務	①内海川改良工事 ②坂根川改良工事 ③佐治町河合谷川改良工事 ④青谷町福井田川改良工事 ⑤茶屋川改良工事 ⑥日光川改良工事 ⑦福井川改良工事	①内海川改良工事 ②佐治町河合谷川改良工事 ③茶屋川改良工事 ④気高町日光川改良工事 ⑤福井川改良工事	①内海川改良工事 ②気高町日光川改良工事 ③福井川改良工事	
	年度別実績	①内海川改良工事 ②坂根川改良工事 ③青谷町福井田川改良工事 ④鮫後川改良工事 ⑤北田川改良工事 ⑥笹谷川改良工事					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	75,574	0	0	0	0	
	直接経費 A	75,574	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	68,000	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	7,574	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	(指標の説明)	目標		0	0	0	0	0
			実績		0	0	0	0	0
	2	(指標の説明)	目標		0	0	0	0	0
			実績		0	0	0	0	0
	3	(指標の説明)	目標		0	0	0	0	0
			実績		0	0	0	0	0

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】河川係 0857-20-3256</p> <p>【10次総の施策体系】4101</p> <p>【予算計上の経過】        予算事業別概要目次        当初予算・P195(都021)</p> <p>【事業の概要】        河川災害を未然に防止するため、治水・環境衛生上重要な法定外水路の改修・改良を行い、流域の浸水被害の軽減、環境改善を図る。</p> <p>【事業の成果】        法定外水路の改修・改良工事など        平成28年度 千円 河川改良工事</p> <p>【今後の課題・方向性】        河川災害を未然に防止し住民の安全確保を図るため、起債事業にて引き続き、取り組む必要がある。今後も、内海川等法定外水路の改修、改良を行い流域の浸水がの軽減、環境改善を図って行きたい。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1						
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>河川災害を未然に防止するため、住民の安全確保を図るため、引き続き計画的に取り組む必要がある。</small>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	025200	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	治水対策事業		所属名	都市整備部	都市環境課

## 1. 基本情報

位置づけの 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	4101	地域防災力の向上				
目標の 目録の 目標	目標の種類		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	治水対策事業費			予算事業コード	01-07-03-01-11-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	洪水時、宅地の浸水被害を生じている区域
意図 (どのような状態 にするために)	浸水被害の軽減を図る
手段 (どうするのか)	浸水の要因となっている河川の改良及び内水被害軽減のためのポンプ場の整備、維持

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①瀬戸川改良工事 ②大塚地区浸水対策工 事	平成29年度 ①大塚地区浸水対策工 事 ②塩見川関連浸水対策 調査検討業務 ③用瀬町川中谷川改良 工事測量設計業務 ④河原町クモ谷川改良 工事測量設計業務 ⑤既設ポンプ場の操作 ・点検	平成30年度 ①谷田川改良工事 ③古海地区仮設排水ポ ンプ撤去工事 ③江川改良工事 ④川中谷川改良工事 ⑤河原町クモ谷川改良 工事	平成31年度 ①谷田川改良工事 ②江川改良工事 ③塩見川関連浸水対策 工事	平成32年度 ①谷田川改良工事 ②塩見川関連浸水対策 工事	
	年度別実績	①瀬戸川改良工事 ②大塚地区浸水対策工 事					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	49,096	0	0	0	0	
	直接経費 A	49,096	0	0	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	344	0	0	0	0
		地方債	30,600	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	18,152	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		宅地浸水解消戸数	戸	目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
	(指標の説明) 治水事業により浸水被害を解消することができた宅地戸数(平成29年度修正)									
	2	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		冠水解消箇所数	箇所	目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明) 治水事業により冠水被害を解消することができた箇所数(平成27年度追加)										
3	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】河川係 0857-20-3256</p> <p>【10次総の施策体系】4101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P195(都)、12月補正予算・P(都022)</p> <p>【事業の概要】 浸水被害を受けたことのある地域を早急に内水処理対策し、浸水被害を防ぎ市民の安全確保を図る。</p> <p>【事業の成果】 排水ポンプ点検運転業務、測量設計業務、改良工事など 平成28年度 38,465千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 内水処理対策による浸水防止を行い、住民の安全確保を図るため、起債事業にて引続き、取り組む必要がある。 今後、起債事業にて大塚地区浸水対策工事により浸水戸数3戸の解消並びに簡水箇所の解消を年次的に図って行きたい。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	宅地浸水解消戸数					
	2	冠水解消箇所数					
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>継続して内水対策による浸水防止を行い、住民の安全を確保する必要がある。</small>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	025300	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	住宅・建築物耐震診断・改修支援事業		所属名	都市整備部	建築指導課

## 1. 基本情報

位置づけの 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市耐震改修促進計画
施策	4101	地域防災力の向上				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区	運営方法	補助金交付
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	住宅・建築物耐震診断・改修支援事業費			予算事業コード	01-07-01-02-17-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	昭和56年5月31日以前に建築(旧耐震)された戸建て住宅、一般建築物要緊急安全確認大規模建築物の所有者
意図 (どのような状態 にするために)	耐震診断、補強設計、耐震改修を実施し市民の安全性を確保するとともに震災に強いまちづくりとする。
手段 (どうするのか)	戸建て住宅については、無料診断のPRを行い、耐震化の必要性を認識していただき、改修のための補助金の交付。また、一般建築物の所有者に対しても耐震化の必要性を認識していただき、耐震診断を行う者に対して補助金を交付する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①耐震診断:50件 ②耐震設計:15件 ③耐震改修:10件	①耐震診断:53件 ②耐震設計:11件 ③耐震改修:9件	①耐震診断:53件 ②耐震設計:11件 ③耐震改修:9件	①耐震診断:53件 ②耐震設計:11件 ③耐震改修:9件	①耐震診断:53件 ②耐震設計:11件 ③耐震改修:9件	
	年度別実績	①耐震診断:45件 ②耐震設計:9件 ③耐震改修:6件					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	15,184	0	0	0	0	
	直接経費 A	15,184	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	11,297	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,887	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	耐震化率	%	目標	90	92	93	94	95
				実績	82.7	0	0	0	0
	(指標の説明) 耐震化基準を満たした住宅や民間特定建築物の割合								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 建築指導係 0857-20-3282</p> <p>【10次総の施策体系】 4101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P203（都037）</p> <p>【事業の概要】 補助金名：震災に強いまちづくり促進事業費補助金 目的：震災による被害から市民の生命・財産を保護し、安心安全な生活環境の保全を図る 内容：昭和56年5月31日以前に建築された一戸建て住宅及びその他の建築物の耐震診断、補強設計、耐震改修に対して助成を行う 補助対象者：建築物の所有者</p> <p>【事業の成果】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">耐震診断</td> <td style="text-align: center;">補強設計</td> <td style="text-align: center;">耐震改修</td> </tr> <tr> <td>平成26年度：</td> <td style="text-align: center;">36件</td> <td style="text-align: center;">15件</td> <td style="text-align: center;">4件</td> </tr> <tr> <td>平成27年度：</td> <td style="text-align: center;">39件</td> <td style="text-align: center;">14件</td> <td style="text-align: center;">4件</td> </tr> <tr> <td>平成28年度：</td> <td style="text-align: center;">45件</td> <td style="text-align: center;">9件</td> <td style="text-align: center;">6件</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 耐震化事業の必要性をPRしながら、国の交付金や県の補助金を活用して耐震化率の向上を図る</p>		耐震診断	補強設計	耐震改修	平成26年度：	36件	15件	4件	平成27年度：	39件	14件	4件	平成28年度：	45件	9件	6件
	耐震診断	補強設計	耐震改修														
平成26年度：	36件	15件	4件														
平成27年度：	39件	14件	4件														
平成28年度：	45件	9件	6件														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	耐震化率	92%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	耐震化の大切さを知ってもらうには建物の現状を把握することが必要であるため、一戸建て住宅の無料診断の案内を全戸に回覧したり市報、HPなどに掲載し啓発した。
<p>事業の成果</p> <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	市民へ啓発を行い、国の交付金と県の補助金制度を活用して事業を進めているが申請件数が予算枠を下回っているため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>市民の安全性を確保し、震災に強いまちづくりに向けて引続き建物の耐震化に対する市民への啓発等を実施し、耐震化事業を促進するためにも耐震診断・改修に係る事業を継続していく。また平成29年度より大規模建築物耐震改修への助成を行う。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	025400	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	総合支所耐震化事業		所属名	総務部総務調整局 財産経営課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成27年度 ~ 全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	4101	地域防災力の向上				
目標の 施策の	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	総合支所整備事業費			予算事業コード	01-02-01-06-01-43

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	総合支所庁舎
意図 (どのような状態 にするために)	地域防災拠点として必要な機能を備える
手段 (どうするのか)	耐震性の向上、非常用自家発電機的能力向上、バリアフリー化推進等

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		年度別計画	①旧耐震基準の総合支所の耐震化方針決定 ②耐震化方針の決定した総合支所の耐震化推進	①旧耐震基準の総合支所の耐震化方針決定 ②耐震化方針の決定した総合支所の耐震化推進	①旧耐震基準の総合支所の耐震化方針決定 ②耐震化方針の決定した総合支所の耐震化推進	①旧耐震基準の総合支所の耐震化方針決定 ②耐震化方針の決定した総合支所の耐震化推進	①新耐震基準の総合支所の防災機能向上
年度別実績	①福部、河原、佐治、気高総合支所の耐震化方針決定 ②福部、河原、佐治総合支所の設計業務発注 気高総合支所は設計施工一括発注						
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	19,858	0	0	0	0	
	直接経費 A	19,858	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	614	0	0	0	0
		地方債	18,400	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	844	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	耐震化工事完了	支所	目標	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 財産政策第一係 0857-20-3851</p> <p>【10次総の施策体系】 4101</p> <p>【予算計上の経過】          予算事業別概要目次：9月補正・P01（総調002） 11月補正・P01（総調001）</p> <p>【事業の概要】          総合支所の防災機能向上</p> <p>【事業の成果】          福部、河原、佐治総合支所の設計業務を発注した。          気高総合支所の設計施工一括発注した。</p> <p>【今後の課題・方向性】          用瀬総合支所の耐震化方針の決定          設計完了後、速やかに工事発注</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	耐震化工事完了					
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small> <small>総合支所は地域防災拠点であり、引き続き事業推進を図る。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	025500	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	国民保護訓練		所属名	総務部防災調整監 危機管理課

## 1. 基本情報

位置づけの 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成19年度 ~ 全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	武力攻撃事態等における国民 の保護のための措置に関する法律
施策	4101	地域防災力の向上				
目標の 実施の 目標	目標の種類		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区		
			0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	国民保護訓練費			予算事業コード	01-02-01-11-27-02

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内で大規模なテロ（緊急対処事態）や有事（武力攻撃事態）が発生又は発生するおそれのある場合（想定）に危険区域にいる市民及び関係機関
意図 (どのような状態にするために)	大規模なテロや武力攻撃から市内にいる全ての人の生命、身体、財産を保護する。
手段 (どうするのか)	鳥取市国民保護計画及び細部計画（マニュアル）に基づく国民保護訓練を実施し、有事の際の行動について住民に周知するとともに、訓練結果を検証し、市国民保護計画や市が行う国民保護措置をより実効的なものとする。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		年度別計画	①国民保護訓練(実動訓練及び図上訓練等)の実施	①国民保護訓練(実動訓練及び図上訓練等)の実施	①国民保護訓練(実動訓練及び図上訓練等)の実施	①国民保護訓練(実動訓練及び図上訓練等)の実施	①国民保護訓練(実動訓練及び図上訓練等)の実施
年度別実績	①本市災害対策本部の統括部職員に対する図上訓練を実施						
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	36	0	0	0	0	
	直接経費 A	36	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	16	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	20	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	国民保護訓練の実施	%	目標	1
			実績	1	0	0	0	0
	(指標の説明) 有事の避難のため、住民の参加等を得て実施する国民保護訓練の実施回数							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 消防防災係 (0857-20-3118)</p> <p>【10次総の施策体系】 4101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算 (事業別概要なし)</p> <p>【事業の概要】 鳥取市国民保護計画に基づく細部計画 (マニュアル) の見直し及びそれらを根拠とした市単独の図上訓練並びに実動訓練を実施する。</p> <p>【事業の成果】 平成28年度においては、内部統制の再確認・構築を図るため、避難実施要領の策定を担当する市災害対策本部の統括部職員に対する図上訓練 (研究) を実施し、当該要領の更新等に取り組んだ。</p> <p>【今後の課題・方向性】 更新された実施要領に基づき、次年度以降は地区における住民参加型の訓練に戻し、住民の国民保護に関する理解を深めるとともに、継続的に訓練を実施することで、実効性のあるものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報伝達訓練 (県・総合支所との実施訓練)</li> <li>・避難行動要支援者の避難訓練 (観光客等一時滞在者の避難訓練)</li> <li>・現地調整所運営訓練 (事前に図上訓練の実施)</li> </ul>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	国民保護訓練の実施	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	計画どおり取り組んだ。次年度以降は住民参加型訓練として、全ての地域で訓練することを目標に年次的に取り組む。
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	計画どおり取り組み、実施要領の更新を行った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small> 毎年、国民保護訓練を実施していくものとする。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	025600	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	防災備蓄事業		所属名	総務部防災調整監 危機管理課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成14年度 ~ 全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	県及び市町村の備蓄に関する 連携体制整備要領
施策	4101	地域防災力の向上				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区		
			0	0		
手段 (どうするのか)			0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	防災備蓄事業費			予算事業コード	01-02-01-11-18-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	災害時に必要となる物資
意図 (どのような状態 にするために)	災害時に必要となる物資の備蓄の確保と県内市町村等との相互支援体制の充実
手段 (どうするのか)	備蓄品の数量、使用期限等を適切に管理し、災害時に速やかに物資が供給できる体制を確保する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①災害時に必要となる備蓄品(乾パン、アルファ化米等)の管理および更新	①災害時に必要となる備蓄品(乾パン、アルファ化米等)の管理および更新	①災害時に必要となる備蓄品(乾パン、アルファ化米等)の管理および更新	①災害時に必要となる備蓄品(乾パン、アルファ化米等)の管理および更新	①災害時に必要となる備蓄品(乾パン、アルファ化米等)の管理および更新	
	年度別実績	①アルファ化米2,500食、保存水7,680本、ウェットティッシュ800袋、粉ミルク1,152回分、し尿処理セット3,200セット、ブルーシート1,600枚					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	1,550	0	0	0	0	
	直接経費 A	1,550	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	415	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,135	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	連携備蓄品の割合	%	目標	70	80	90	100	100
				実績	71.41	0	0	0	0
	(指標の説明) 県及び県内市町村が共同して備蓄している品目のうち、鳥取市が備蓄する品目の基準数量に対する備蓄割合								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】危機対策係 (0857-20-3127)</p> <p>【10次総の施策体系】4101</p> <p>【予算計上の経過】当初予算(事業別概要なし)</p> <p>【事業の概要】 県及び県内市町村が災害時に必要となる物資の品目、数量を定めた「県及び市町村の備蓄に関する連携体制整備要領」を基本として、災害に備えて県内市町村が共同で備蓄し、災害時には被害のない市町村から被災した市町村に物資を供給する相互援助体制をとることにより、備蓄する量を抑えることができる。</p> <p>【事業の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファ化米(2,500食)</li> <li>・保存水(500ml/7,680本)</li> <li>・ウェットティッシュ(800袋)</li> <li>・粉ミルク(1,152回分)</li> <li>・し尿処理セット(3,200セット)</li> <li>・ブルーシート(1,600枚)</li> </ul> <p>【今後の課題・方向性】 備蓄品の数量、使用期限等を適切に管理し、災害発生時に速やかに物資等を供給できる体制を確保する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	連携備蓄品の割合	102%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	順調に備蓄数を増やしている。(使用期限等の都合もあり、大量購入ではなく年次的に備蓄していく必要がある。)
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	目標値を若干上回る備蓄数となった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加	<input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>備蓄品の数量、使用期限等を適切に管理し、災害時に速やかに物資が供給できる体制の更なる充実に向けて取り組む。また、自主防災会等を通じて避難所等で求められる物資等を調査し、住民(避難者)ニーズに応じた備蓄にも努める。</small>		